

平成30年7月豪雨（西日本豪雨）復興支援 活動報告書

被災支援ボランティア団体
「おたがいさまプロジェクト」 大竹 修

赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート基金」の助成事業
復興支援ボランティア・ツアーVol.14「神戸から真備へ」が終了しましたので、ご報告致します。

記

活動日時	2019年9月22日（日） 7時～19時
活動場所	岡山県倉敷市真備町
ボランティア数	17名（内初参加12人,学生11人）
活動内容	1.子ども支援 2.見守り訪問／サロン活動（足湯、お茶会） 3.写真洗浄

1.子ども支援

場所・時間	①みその仮設住宅	②市場仮設住宅
作業時間	1.5時間（10時30分～12時）	2時間（13時～15時）
ボランティア数	17名	17名
受益対象者数	18名	20名
作業内容	レクリエーション等	
詳細	仮設住宅の集会所にて子供向けレクリエーションを行った。 <活動の成果> 1.ストレスを発散し、子供たちの不安や悲しみを取り除き、生きる強さに昇華させることができた。 2.子どもたちが地域住民と触れ合うことで社会性を伸ばすことが出来た。 3.ゲームやお菓子タイムの中でルールや片付けを行い、社会のルールや道徳心を育てる事が出来た。 4.日頃遊ぶ場所が少ない子どもたちのために楽しみを与えることが出来た。  （内容は子ども達の自主性に任せている）  （綿菓子をみんなで作るイベント）	

詳細・情報共有等	【社会（大人）を通して成長する場を】 大人と一緒に楽しめるようなイベントを企画。子供達は親以外の大人と接することで社会性や道徳心を伸ばす事が出来る。地域活性にもつながる大事な活動なので、今後も積極的に行っていく。	
----------	--	--

2.見守り訪問／サロン活動（足湯、お茶会）

場所・時間	①みその仮設住宅	②市場仮設住宅
作業時間・ボランティア数は1と同様		
受益対象者数	約50名	約40名
支援・協力団体	石橋様（みその仮設仲介、物資提供）チョコ様（現地広報等）	
作業内容	見守り活動、サロン活動（足湯・お茶会）	
詳細	①見守り訪問活動 仮設住宅全てに訪問。悩み、困りごと等の聞き込み調査を行った。 <活動の成果> 1.一人一人違う心の問題を傾聴する事で、悲しみや怒り、精神的安定や寂しさからの解放、孤独死や引きこもりなどの抑制活動を行った。 2.困りごとや頼み事などを支援団体「災害支援ネットワークおかやま」「まびシェア」や倉敷市などに情報提供し、生活の現状や改善に役立てることが出来た。  （一軒ずつ訪問活動を行う）  （小さな声も漏らさないよう活動する） ②サロン活動（足湯・お茶会） 被災者のストレス発散や、コミュニティの場として足湯・お茶会を行った。 <活動の成果> 1.被災者同士の良好なコミュニティ形成の一助となった。 2.足湯、お茶会と通じて楽しんでもらい、被災者の喜びや悲しみ、怒りに寄り添うことが出来た。 3.子どもイベントを同箇所で行い、全世代が楽しみ、会話が出来る場所を提供した。 4.聞き取りした内容は全てHP等に掲載。他団体に報告するなどシェアを行なった。 	

【子どもたちという地域の宝と一緒に生きていく。】

同会場で子供イベントを行うことで、自然と地域の子どもたちと大人が交流出来るようにし、最終的に支援団体がなくなった後でも、**全世代を含めたより良い地域コミュニティが出来るサポートが出来た。**



【情報共有】

1. 市場仮設住宅（訪問回数13回）

①「真備のたけのこは日本一だよ。お刺身にするのが一番」（ずっと無口だった男性に30分寄り添った後、お話をしてくれた）

2. みその仮設住宅（訪問回数2回）

①「リフォームが終わりをむかえ、家財道具を全て揃えるのに疲れが溜まっている。」（60代男性）
 ②「集会所に行けない僕たちのために、家でお話をきいてくれて本当に感謝している」（足の悪い男性とその家族）」

全体として

① 台風が続くせいで、心の調子が悪い方が多かった（5件）

3. 写真洗浄

場所	元田集会所
作業時間	約1.5時間（9時30分～11時）
ボランティア数	8名
受益対象者数	約20名
作業内容	写真洗浄
支援・協力団体	「真備写真洗浄@あらいぐま岡山」様（場所提供・作業指示）

詳細・情報共有等

※写真洗浄とは

自然災害で汚れた写真を1枚ずつ丁寧に汚れを落とすボランティア活動。泥で汚れた写真はバクテリアが周りから侵食して白くなっていく。侵食をとめるために水・エタノール水溶液で洗浄しなくてはならない。

簡単な作業ではあるが、被災者の心に寄り添える大切な活動で、小学生や初心者には向いているボランティア。

<活動の成果>

- 1.被災者の思い出を守り、生きる喜びを与えることができた。
- 2.バスを利用して大人数での効率の良い活動が出来た。
- 3.活動中や休憩時間などに、ボランティア同士の交流を通して、防災やボランティアの意義を感じてもらった。

【現地のボランティアの方との交流】

作業時に同席した現地ボランティアの方に、当時の話や現在の状況などを説明していただく機会があり、初参加や学生たちにとって有意義な時間となった。これからも無機質な活動ではない心の通ったボランティアを目指したい。



【所感】

西日本豪雨から1年が経ち、先月と同じく真備支所前の石碑にて、黙祷から始める活動となりました。

活動の前日に台風が接近、今夏だけでも4回の台風が日本列島を通過するなど、改めて災害と向き合いながら生きていかなければいけないと感じております。今後も常に防災情報の発信を行いながら、団体のメインである慰問活動を続けていきたいと思ひます。



<続けていくことの価値>

今回で14回目を迎え、被災者、地域住民、そして地域の支援団体の方と、良好な関係を築き上げることが出来ています。

台風のために前々日前に服部地区でイベントが出来なくなった時、仮設住宅の方から受け入れの許可、支援団体の方から支援物資を頂き、当日はみその仮設住宅で十分な活動することに出来ました。

この時に言われた「おたがいさまです」と言われたことがとても嬉しく、ずっと活動してきた事の意義を感じることができた回となりました。





<子どもたちが成長していく喜び>

3回目の訪問となるみその仮設住宅で、前回同様に外で水風船をキャッチするイベントを行っていました。

いつもはボランティアの方から「片付けようね」と声をかけているのですが、今回は一人の少年が誰に言われることもなく風船の破片を片付けていました。

その姿にただひたすら愛おしい気持ちと、喜びに満たされる事が出来ました。

ただ活動するだけではなく、この少年のように心ある人達を一人でも増やし、これからの世界を明るく照らす為にも、誠心誠意活動して参りたいと思います。

最後にこのような機会を頂けた中央共同募金会様、ご協力頂いたあらいぐま岡山様、まびHouse様、つむぎママ様、チョコ様、そしてボランティアの皆様、心より感謝をお伝えしたいと思います。

本当に有難うございました。
おたがいさまプロジェクト代表 大竹

【今後の活動について】

10月13日・・・神戸で出来る復興支援
(写真洗浄会)

10月25日・・・復興支援ボランティアツアーVol.15



【傾聴アンケート35件】

(みその仮設住宅：16件)

子供たちの遊び場。
プロレス士様の仮設住宅より
木造の方が有難い。

堤防が高くなったため、日当たり時間も短くなった。
70代～80代 女性 3人組
家の写真(災害前)をみると気持ちがいよけが
70代～80代 女性

(市場仮設住宅：19件)

夏はあつて、冬は寒い(仮設内)

しんどうや音かとなり近所の仮設宅にみているのはと気になる
子どもが雨の日遊ぶ所がない。

ピアノ等の楽器があれようかい

30前半 男の子と女の子の2人の母

女性(30代)

(子どもと一緒に)

市場仮設ではなくそこから30分くらい、みなし仮設から転居。

みなし仮設ではこうしたイベントが近くに住んでる人も

分かっていない状態。

尾合さん

お兄ちゃん1人暮らしで

1人で暮らしている

尾合さんも事故を体験し

車を修理に出している

ひなちゃんのお母さん

バレーを習わせたいから、たけし

近くに住まい(教室が)か、無理だった

も、子どもと一緒で2人暮らし

解散会があると非常に嬉しい

女学生

夏はあつて、冬は寒い(仮設住宅)

生活音が聞こえる()

ガドレールの所まで水が来たなどの具体的な話をし
てもらった。大津波は2階まで水が来て大変だったと聞いていた。

つぎでつぎ

僕たちも数々の移動で、真備神社、たけし=食
堂へ行、お祭りに、真備神社の上へ登り、
お祭りで、お祭りの所となった。また、そこから見えるガードレールの所まで水が来ていて、小
学の2階付近まで来ていたと聞きました。そして、たけし=食堂の奥の方で、備品を集め
てあり、自由に住民たちや、レイト役にも
もそこにおいたり、お祭りしているところも
ありました。

70歳 男性

60歳で仕事をやめていたとで、7歳になら
ずえのその時期の雨のため、おびえ不安な、たけし、2階に逃げたとで、どうしてみんな戸外に行か
ず、おびえかという。水があまりにも静かに1階に入りこんで来ていて、気づくのが大変
おびえかからたという。

奥様

自宅に居る事はうれしい。仮設で仲良くなら人と別れる事

辛い

後は、息子さんと娘さんの話を聞かせて頂きたい

いちば仮設

87才 男性

一人暮らしで自炊している

何でも自分でやるので

困り事は無い

震災後奥様と仮設に預けて

もっている。引き取り手がいないと

まみしように思われていた

お母さん

50代 女性

新築に家があるが、お母さんが

お母さんが入っていないと、お母さんが

定年退職した天の老後、不安と

話されている

市場仮設 70代 女性

足湯とお茶会、お茶会

にいられたので、お茶会

嬉しかった

【参加者からの感想17件（回収率100%）】

20代/大学生(初参加)

[illegible]

20代/大学生(初参加)

今の時代、写真はケータイに写っているものが多いからこそ、写真を撮るとも大切にされる気持ちがおありました。その大切な写真を洗印することができて、よかったです。子供たちとふ、あいうえお鑑賞会はあきなくて、休取れないが、不安でしたが、とても楽しんでもらえて、仲良くなって自分もとてもためになりました。主婦層の人たちの悩みもいろいろあることが知れました。

20代/大学生(初参加)

身体流汗は思っていたより多量に、時間もかかりました。12月
 作業が行われて、人手がもっと必要だと感じました。
 お茶会では、何人かの方とたくさんのお話をする事ができました。
 当時の話や今の様子など、笑顔で話していましたが、暗所
 へ少し悲しみが混ざったので、心の傷はなかなか癒えるものでは
 ないのだと思いました。今回活動に参加して、さらにこういった活動の必要

お誘いや活動情報をメールにお送りしても宜しいでしょうか。 (YES / NO) にきく

20代/大学生



切り出し作業がとて難しかった。残りの字裏の枚数は10枚程度ありとおっしゃっていた。またまた遠い道のりだなと感じた。訪問のとき、告知すると「疲れかけたから疲れ取。こそいいないなあー。」とおっしゃくれた方がいらした。と、とても楽しみなしぐさでいって嬉しかった！また、その方にお会いしたい。

20代/大学生(初参加)

写真に写すのは、アルバムから取り出さずに汚れて落ちた作業を
しました。これに難しか、たがいます。これ、この作業をあることで
笑顔になれる人がいるのだと思います。かみ（か）う（う）思（思）いました。
子ども支援では、普段身体を重たがうことがないのびのびの
時間でもあじうられました。子どもたちの笑顔を忘れた笑顔を見
るに幸せを感じました。また参加したいと思っていました。



10代/学生(初参加)



初めてボランティアに参加しましたか。
皆さんが暗いようなイメージとは
反対に笑顔でお話ししてくれ
たので私も笑顔で楽しみな
から接することになって良かった
と思います。

40代/社会人

今日午後の写真撮影がなくなり残念だったが市場仮設も
まわったのでよかった。仮設外から人も歩いて
めいめい仮設の話も聞けてよかった。

40代/社会人(初参加)

足湯＝バリアのイメージでしたが所々にあるとは思
いず。私もどこかで活用出来たらいいと思
います。若いボランティアの方で、端々より
良いと思います。

20代/学生(初参加)

とても有意義な時間でした。
普通の世間話から被災時のことまで色々な内容
の話をすることができた。
僕も色々あったかもしれないけど、少しでも元
気の源になったかなと思います。

20代/学生(初参加)

足湯や遊びを通して色々な人から涙水があつた
時の話などが聞けたりしてとても良い経験にな
りました。足湯を通して高齢の方々にも気持ちよ
うな思い、とても嬉しくなり、少しでも力にな
れたのかなと思いました。

40代/社会人(初参加)

1年経っていてもまだ作業が残っていたので
びっくりでした。アルバムのアールから写真をほかして
いたところが新築もひとととても大変な多変だったので
少しでもきれいにしていとも思いました。



10代/中学生(初参加)



⑭) 少ないかと思いきや部屋中には大人の方、外には子どもたちと大反響だった。私は子どもと関わる機会が久々に体験できる時間と設けて頂き濃い午前中を過ごすことができた。

20代/大学生(初参加)

子どもたちの元気がいかに多くてこちら側まで元気が出た程だった。今日をオセロ負けたが前回よりは良い勝負ができたと思う。女の子もこの元気でみんなで楽しく笑い合えたよかったです。

